

第536回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 令和5年2月1日（水）午前11：00より

2. 開催場所 長野放送本社会議室

3. 委員の出席 ○委員総数 8名
○出席委員数 8名
○出席委員の氏名（敬称略・委員は五十音順）

委員長 林 新一郎

副委員長 井口 弥寿彦

委員 浅井 隆彦

委員 加藤 恵美子

委員 笹本 正治

委員 瀧川 浩

委員 武重 正史

委員 南澤 光弥

○欠席委員の氏名（敬称略・委員は五十音順）

○放送事業者側出席者名

外山 衆司 （代表取締役社長）

船木 正也 （常務取締役 編成業務・放送番組審議会担当）

太田 耕司 （常務取締役 報道制作・企画事業担当）

西條 彰浩 （報道制作局長）

早川 英治 （編成業務局長）

浅輪 清 （編成業務局次長 兼 考査部長
兼 放送番組審議会事務局長）

北澤 輝久 （編成業務局編成部長 兼 視聴者室長）

宮本 利之 （報道制作局制作部長）

駒津 翔平 （報道制作局制作部）

4. 議題

（1）番組審議

『 NBSフォーカス∞信州 氷上に咲いた夢

～小平奈緒 世界に愛されたスケーター～ 』

令和4年11月25日（金）夜7時00分～7時57分放送

(2) 視聴者対応報告（令和5年1月分）

(3) その他

5. 議事概要

(1) 番組審議

- ・小平奈緒という人物を非常によく捉えた、特に人間性を捉えた素晴らしい番組だと視聴した。
- ・多くの記録映像の中からトップスケーターとしてのオフシーズンのトレーニングや、あまり目にする事の無いような場面も興味深く見た。
- ・この番組はアスリートの地道な日々のトレーニングに密着して、一瞬に懸けるといふ所に迫れたという所で価値があった。
- ・夏のトレーニングを密着取材し、ラストランのエムウェーブの所で大学の同級生を見つけたり、ご両親を見つけたりできるのは、長野放送の機動力に感心した。
- ・競技の引退を宣言してからの7か月をフォーカスして他社よりも一生懸命彼女に密着してアスリートの引き際を見届けようということを番組の主題にしていた。
- ・小平さんの人柄や求道的なスケートへの向き合い方等を一番深く伝えていた。
- ・「記録にも記憶にも残るトップスケーター」という言い方を表現の中で使っているというのはすごいなと思った。
- ・「金メダルというよりは、自分自身がどこまでやれるかという挑戦を皆さんの前で表現することによって、誰かの生きるエネルギーになれていればいいな」と、

いかにも小平さんらしい「小平節」が出た。

- ・「知るを楽しむ」ということなど、随所に「奈緒節」が出ていて考えさせられる良い番組だった。
- ・ボランティアをして地域の人たちを助けるということではなくて、心が動いたのはその時だという言葉が撮られて、自分のためにもボランティアをしてくるんだという所が映し出されていた。
- ・物事にきちんと努力を積み重ねた人は、人間性が大きくなって、その人の影響が単なるスポーツだけではなくて、彼女の言葉の端々から県民に伝わるだろうメッセージ性の込められた番組になっていた。
- ・スケートにとどまらず、競技者の意識や感覚というものを自分の言葉で表して、一般の人にも感じてもらえるように努めている小平さんの素顔を無理なく引き出して、しかも柔らかく伝えることが出来ている。
- ・多くの人を魅了してやまない小平さんの人間像を浮き彫りにしようというフォーカスを選んで、それが上手くいったのではないか。
- ・柔らかく小平さんの素顔を伝えることが出来たのは、インタビュアーに岡崎朋美さんをキャスティングしたのが奏功した。
- ・岡崎朋美さんのインタビューがあったからこそ、プライベートの部分もよく出ていてこちらの心が晴れやかになるというか、心が洗われた感じの番組にできた。
- ・ただ冷徹なアスリートではなくて、コーヒーが好きだということや、食べつけないパンを食べて口の裏側を嚙んじゃったという話を引き出したことも彼女のひととしての面白さ、人間性を膨らませる意味で非常に良かった。
- ・競技者から人間として今後人生の展望を如何に開いていくかが希望に溢れるような形で終わられていたので良かった。
- ・茅野市で生まれ育って信大まで県内で学んで世界で花開いた小平さんは、県民に

- とっても大きな誇りであることを改めて実感させてくれた番組だった。
- ・番組を視聴して、小平選手が信州の方にとって人間性も含めて特別な存在だということも得心した。
 - ・多くの秘蔵映像や密着映像を交えた構成にしたことで競技者としての努力と成長の軌跡のほか、人間性や視野の広がりみたいなことが良く伝わった。
 - ・同じ信州人でもほとんど知らない深掘りした人間性といったものを表現した番組。
 - ・小平選手の今後の言動とか活躍に期待しながら関心を寄せていきたいと思わせてくれた番組。
 - ・小平さんが今後どんな花を咲かせ、県内と信州大学でどんな花を育てて行ってくれるのかを再び視聴できるような機会が来るように番組を見て願った。
 - ・テーマで振り返るスケート人生を真ん中辺りで、録画中心で出したというのも、小平選手を余り知らない者にとって良かった。
 - ・中学校時代に両親が片道55キロを毎日送迎したなど、ご両親がこういう家庭だからこういう人が生まれるのだというのが、よく分かった作りになっていた。
 - ・御両親との関係性についてあまり知ることがなかったが、今回の番組でこういう家庭でこういう人が育ったのだなというのは一番深く感じた。
 - ・オランダで得たもの、感じたものなどを小平さんから引き出していただければ、なお良い番組になったのではないかな。
 - ・オランダ修行で一項目設けるか、「世界の壁」ではなくて、例えば「世界への挑戦」とか「世界から得たもの」とかで括った方がいい。
 - ・副題の「小平奈緒 世界に愛されたスケーター」のことが、番組の中のどこで語られているのかがよく分からなかった。
 - ・小平奈緒さんには結城コーチという師弟関係もあったから全幅の信頼を置いて信

州に留まったということだと思うが、なぜ県外の優秀な指導者の下に行かなかったのかを深掘りしていただければ、もっと番組に重厚感が出たのではないか。

- ・滑りを支えた滑走技術や本場オランダで発見した技術を結城コーチに科学的に解説してもらうことを番組の中で紹介してもらいたかった。

(2) 視聴者対応報告

資料に基づき、令和5年1月分の視聴者対応について編成局より報告を行った。

(3) その他

配布資料

- ・委嘱状
- ・第535回番組審議会（令和5年1月）議事録
- ・視聴者対応報告資料（令和5年1月分）
- ・BPO報告（NO.247）
- ・モニターレポート 『 NBSフォーカス∞信州 氷上に咲いた夢
～小平奈緒 世界に愛されたスケーター～ 』

令和4年11月25日（金）夜7時00分～7時57分放送

以上